

創立142周年



学校だより

は え

南風の子

中種子町立
南界小学校

平成27年9月11日(金)発行

2学期の実りを求めてスタート!

校長 岡留 祐宏

2学期が始まりました。2日目には早速、運動会の練習が始まり、夏休み気分を一気に吹き飛ばしてくれました。8月末の愛校作業のおかげで、気持ちよく運動場で練習ができています。また、水難事故防止の巡回パトロールや声かけもお世話になりました。子どもたちの事件・事故・大きな病気等もなく、2学期が順調にスタートできました。

今、多目的ホールにはこの夏休みに取り組んだ多くの作品がならんでいます。1学期の復習に励んだ宿題帳はもちろん、早くから計画を立てて進めてきた理科や社会の自由研究、何度も推敲を重ねた作文、古市家塾で教わり仕上げた習字、工夫しながら丁寧に仕上げた図画・工作の作品、1学期の学習の復習に励んだ宿題帳など、作品という形になって残りました。何より大事なことは、こつこつと取り組むなかで、我慢する心、やり遂げようとする意思など、目には見えなくても大事な力が子どもたちの中に育ったのではないのでしょうか。

とは言え、計画通りに行くことは口で言うほど簡単ではなく弱い心との戦いです。夏休みの過ごし方を振り返り、今後の生活の中で、計画性や実行性の向上を図りたいと思うことです。

先日のPTA全体会では、2学期の重点として次のこととお話ししました。



運動会応援団の結団式

- (1) 2学期の各種行事を通して、自分で考えてきびきび動くこと、力を合わせて協力すること、最後までやり遂げる力を育てていく。〈機会逃さず、言って、させて、ほめる〉
- (2) 日々の学習を怠らないこと。特に、①わからないことやできないことをそのままにしない(過去の未定着分も含めて、できるまでやる)。②理由や根拠を明らかにして、きちんと説明する力を付ける授業の徹底。〈担任と連携し、家庭での反復をお願いします〉

「心の教育の日」授業参観より

9日の「心の教育の日」は、全学級で道徳の授業を参観していただきました。相手の気持ちを想像したり、自分を見つめ直しながら、よりよい関係づくりを考える機会になるよう授業を計画しました。

アンケートには、授業参観の感想や思いやりを育てるために各家庭で心がけていらっしゃるいろいろなことが記されていました。子どもたち一人一人の変化を逃さないためにも、「よく見ること、思いをめぐらすこと、きちんと向き合うこと」が、我々職員にも家庭にも求められていると思います。自分ことも周りの人のことも大事にする気持ち、自分も他人も共に生かされるような問題解決力の向上に努めていきたいと思えます。参観並びにアンケートの回答ありがとうございました。



校長室前の廊下で

玄関の靴箱の側面には、日めくりカレンダーが掛けてあります。子どもや先生達の誕生日のところに名前を書いた付箋が貼ってあります。今朝のことです。校長室の前に3人の女の子達がやってきて、「校長先生、お誕生日おめでとうございます」と声をそろえて祝ってくれました。“お誕生日”と「お」まで付けてもらって気恥ずかしやら嬉しいやらです。我が家の息子や娘からは、メールで「Happy birthday!」だけなのにです。

明るく優しい3人の声は、「おめでとう」のメッセージとともに耳に残りました。やっぱり、声に出して伝えることは大切だと思えました。「で、幾つになったんですか」と聞かれ、子ども達と遠くかけ離れた年齢を改めて実感することでした。「年齢相応の中身を磨かねば」と思いました。

現在、むし歯治療率70%です。「むし歯0で元気な体づくり」にみんなで取り組みましょう。